



「お父さん、おじいちゃん 一緒にあそびましょう！！」

～男性保育参加者の増加をめざして～

《改善への取り組み》

大久保保育園では、毎年、「保育参加」と「子育てパパ1日保育士体験」を実施している。

しかし

お母さん達の参加は増えたが、お父さん達の参加が少ない。

なぜ？

～保護者の声(アンケートより)～

- ・女の人ばかりのところには、参加しづらい。
- ・1人だと恥ずかしい。
- ・母親と一緒にならいいけど・・・
- ・保育士パパだと時間が長い・・・等

でも

～保育士の思い～

お父さん達に保育園の事を知ってもらい、進んで育児に参加してもらうために、「子育てパパ1日保育士体験」の参加者を増やしたい。

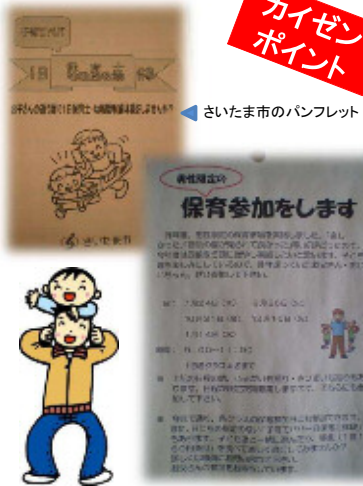
カイゼンポイント

～会議で話し合う～

- ・年に数回、日にちを決めて、男性だけの保育参加日を設けてみよう！！
- ・ポスターを作ろう！！
- ・懇談会でお母さん達に話をして、誘ってもらおう！！
- ・さつま芋掘りなど、行事のお手伝いの募集もしてみよう！！

そこで

*「子育てパパ1日保育士体験」とは・・・
さいたま市全園で取り組んでいる事業で、保育園を知ることで親心が育ち、育児への積極的参加を促すことを目的としています。



▲ 保育園作成の掲示物

『男性限定保育参加』実施後の改善の効果

保育士の思い

保育参加の様子を掲載した掲示物を見て、「今度、参加してみようかな」と言ってきてくれるお父さんが多くなってきている。

行事のお手伝いなどにも声掛けすると、積極的に申し出てくれるようになった。

話さなかったお父さんとのコミュニケーションのきっかけになっている。

身体を使った男性ならではのあそびを思いっきりしてもらえ、子どもたちも嬉しそう。

今年度は保育参加を年5回・じゃがいも掘り・さつま芋掘りの年7回を計画。12月1日現在の参加者数は41名です。(昨年度は年間22名)



実施後、写真やアンケート結果などをまとめて掲示



* 以上のようにたくさんの感想や変化がありました。今後もアンケートを参考にしながら、男性限定の保育参加を充実させていきたいと思います。

保護者の声

祖父と何かをする機会があまりなかったので、一緒に芋掘りができて良かった。楽しめた。

子どもが保育園でどう過ごしているのが見ることができた。

友だちとどのように付き合っているのかができて良かった。

芋掘りはいい体験だった。楽しかった。また参加したい。外国籍のお父さんより

「出来たら寝る」ということを、親として学びました。

事前審査委員からのコメント

- ・今回の呼びかけは、写真や書きを見やすく使っており、大変見やすい。アンケート結果を取り入れるなど利用者の声を取り込んだことも素晴らしいと思います。
- ・「アンケート調査の実施・分析 → 新たな施策の立案・実施 → その内容をビジュアル化して活用」と、課題の解決に向けたアプローチが見事な改善事例。
- ・ネーミングも、あえて「男性限定」としたところが秀逸。他の保育園への展開も期待される。